和歌山県立紀伊風土記の丘 開館50周年記念 令和3年度秋期特別展

船の科学館 海の学び ミュージアムサポート

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

海と日本 PROJECT

海に挑み、海をひらく

紀の国七千年の文化交流史

Leading the Challenge on the Sea:
Kii Peninsula's Seven Thousand Years of Cultural Exchange

2021年10月2日(土)≫12月5日(日)

シンポジウム

— 紀伊半島をめぐる海の道と文化交流

11月21日(日) 10:00～16:30

講　　演：「カツオ漁と紀州人」
川島秀一氏（東北大学災害科学国際研究所）
「古式捕鯨業時代の紀州と西海の交流」
中園成生氏（平戸市生月町博物館・島の館）
「伊勢・志摩・熊野の海人の実像を追う」
穂積裕昌氏（三重県埋蔵文化財センター）
「海と生きた縄文・弥生時代の人びと―かれらが海に乗り出した理由―」寺前直人氏（駒澤大学）
「紀伊半島沿岸における海の生業と文化」
蘇理剛志・萩野谷正宏（当館）
討論司会：櫻井敬人（太地町歴史資料室）
電話申込：10月29日(金)13：00～
定　　員：60名(先着順)
会　　場：和歌山県立紀伊風土記の丘

連続講座

第1回　10月10日(日) 13:30～15:30
「弥生・古墳時代、瀬戸内の海に生きた人々と海上交通」柴田昌児氏(愛媛大学)
「紀伊半島をめぐる弥生時代の東西交流」萩野谷正宏(当館)
「海を介した交流の再検討―古墳時代の紀伊半島を中心に―」田中元浩(当館)

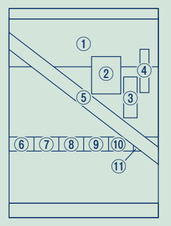
第2回　10月17日(日) 13:30～15:30
「海洋性とゆるやかな定住社会―紀州文化への視座―」
野地恒有氏(愛知教育大学)
「今に生きる伊勢湾二千年の海の歴史文化―タコ・信仰・交流―」
藤井康隆氏(佐賀大学)

第3回　10月24日(日) 13:30～16:00
「古代紀淡海峡周辺の漁業と塩業」積山洋氏(大阪市文化財協会)
「紀淡海峡の海人集団」冨加見泰彦(当館)
「みさきの古墳と埴輪」河内一浩氏(羽曳野市教育委員会)

第4回　10月31日(日) 13:30～16:00
「紀州漁民の関東出漁と醤油」須藤護氏(龍谷大学名誉教授)
「海の民俗からみた日本列島のなかの紀伊半島
―ウミガメの利用と信仰の習俗を中心に―」藤井弘章氏（近畿大学）
「年表から読み解く紀州海民の活躍」蘇理剛志(当館)

第5回　11月28日(日) 13:30～15:30
「旅に出て、ふるさとに生きる―人の移動の民俗学―」
松田睦彦氏(国立歴史民俗博物館)
「戦後出稼ぎ漁業と和歌山県の漁村」今川恵氏(国立研究開発法人水産研究・教育機構)

電話申込：第1回: 9月23日(木)～、第2回: 9月30日(木)～
第3回:10月 8日(金)～、第4回:10月15日(金)～
第5回:11月 5日(金)～（いずれも13:00から）
定　　員：各回30名(先着順)
会　　場：和歌山県立紀伊風土記の丘



①紀州漁業絵巻 捕鯨(和歌山県立図書館) ②和歌山市大同寺出土 家形磁(東京国立博物館) ③三重県白浜遺跡 鹿角製釣針(鳥羽市立海の博物館) ④御坊市天田出土 押出型ポイント(石匙)(個人蔵 御坊市教育委員会保管) ⑤新宮市三輪崎 鯨銛(新宮市教育委員会) ⑥周参見王子神社奉納船絵馬【県指定文化財】(周参見王子神社) ⑦大漁旗(睨み鯛)(由良町教育委員会) ⑧日高町産湯 地引網で水揚げされたイワシ(2000年撮影) ⑨大漁旗(海南市教育委員会) ⑩和歌山南漁協すさみ支所 水揚げされたカツオ(2021年撮影) ⑪和歌山市天王塚古墳 玉類(和歌山県教育委員会)

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋1411　電話 073-471-6123
ホームページ https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp

【開館時間】9:00～16:30(入館 16:00まで)【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は次の平日)
【入館料・特別展期間】一般360円(290円)・大学生220円(160円)※高校生以下、65歳以上、障害者及び県内在学の留学生の方は無料(要:証明書)
()内は20名以上の団体料金

※今後の新型コロナウィルス感染拡大の状況によっては開催中止等の変更が生じる場合があります。詳しくは当館HPをご確認ください。

山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021　第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)～11月21日(日)